

ダイアボンド DA737WG
(ゼリー状・瞬間接着剤)

ダイアボンドDA737WGは α -シアノアクリレート系接着剤で、広範な材料に接着可能な無溶剤の一液形化学反応性接着剤で、液垂れの少ない高粘度のゼリー状タイプです。

§ 特長

1. 液垂れが少ないので、垂直面や天井面に塗布して接着作業が可能です。
2. ポリオレフィン系を除く広範囲な被着材に適用でき、木材、皮革などの多孔質のものでも接着が可能です。
3. 可使時間に余裕があるため、比較的大きな面積の接着が可能です。

§ 用途

1. 木材、皮革、金属、ゴム、プラスチックなどの同種または異種の接着
2. 各種部品の仮止め接着

☆被着材の組み合わせによっては、接着しにくいものがありますので、試験した上でご使用下さい。

§ 一般性状

主成分	エチルシアノアクリレート
外観	淡黄色半透明
反応分 (%)	100
粘度 (mPa·s) at20℃	6,000 ~ 20,000
保証期間 (月) at 5℃	12
引火点 (℃)	80

§ 使用方法

1. 前処理 被着材表面の水分やゴミ、油などを除去し、汚れのないよう清浄にします。接着面は、密着できるよう、平滑にします。
2. 接着 片面に少量接着剤を滴下し、素早く他の接着面とあわせ、指または手で押えます。

§ セットタイム（接着後、0.5 MPa の力で引張っても被着材が動かなくなるまでの時間）

被着材	セットタイム (秒)
クロロプレンゴム	20 ~ 30
ニトリルゴム	30 ~ 40
ABS樹脂	40 ~ 50
硬質塩化ビニル樹脂	40 ~ 50
アクリル樹脂	30 ~ 40
鋼板	30 ~ 40
アルミニウム板	50 ~ 60
ステンレス鋼板	50 ~ 60
ラワン合板	50 ~ 60

§ 接着強さ

引張りせん断接着強さ (MPa)

被着材	常態	48 時間後
クロロプレンゴム	5 *	
ニトリルゴム	6 *	
ABS樹脂	6 *	
硬質塩化ビニル樹脂	7 *	
アクリル樹脂	6*	
鋼板	20	
アルミニウム板	20	
ステンレス鋼板	23	
ラワン合板	8 *	

* : 材質破壊

試験方法 : JIS K 6850 及び 6851 に準ずる

§ 注意事項

- ・ 接着剤は塗布量が多過ぎると接着速度が遅くなる上に、所定の接着力が得られなくなります。
- ・ 容器に穴を開ける時は、ノズル先端を顔に向けないようにして下さい。
- ・ 作業に当たっては、目に入らないように保護メガネなどを着用して下さい。
- ・ この接着剤は皮膚を瞬間に接着するため、皮膚につけないよう十分に注意して下さい。
- ・ あやまって指などを接着したときは、お湯の中でゆっくりもみほぐしながらはがすか、瞬間接着剤はがし液を使用して下さい。
- ・ 万一眼に入った時は、すぐに大量の水で洗眼し、必ず医師の手当を受けて下さい。無理にはがそうとしたり、目をこすったりは絶対しないで下さい。

- ・ 取扱い作業中には換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにして下さい。
- ・ 火気のあるところでは使用しないで下さい。
- ・ 布、皮などの手袋や着衣などに多量に浸み込んだ場合、急激に発熱して火傷することがありますので注意して下さい。
- ・ 使用後は、必ず密栓して直射日光の当たらない場所に、湿気ならびに塩基性物質（硬化促進剤、アミンなど）を避けて保管して下さい。また、長期保管される時は冷蔵庫（5℃）で保管して下さい。
- ・ 廃棄するときは、容器を密封して、産業廃棄物（燃えないごみ）として処理して下さい。
- ・ 子供の手の届かないところに保管して下さい。
- ・ 本来の用途以外には使用しないで下さい。
- ・ 消防法：第四類第三石油類（非水溶性液体）（危険等級Ⅲ）に該当。

☆ 上記の接着性能データは、当社実験室で得られた値ですので、接着剤選定の目安としてご使用下さい。環境条件や作業条件などにより、得られる値も変化しますので、より正確な接着性能を求めたい場合は、それぞれの用途に合わせて確認試験されることをお勧めします。